

特集 1

がんばろう 若者よ!

新学部「人間社会学部(仮称)」のすすめ

新学部「人間社会学部(仮称)」は

「人の幸せを願う優しい気持ち」と

「確かなビジネスの力」を兼ね備えた人材を育成します

加瀬 正裕

4

島田 晴雄

5

朝比奈 剛

19

特集 2

同窓会新会員を迎えて

—— 新会員歓迎式および卒業祝賀会を開催 ——

寄り合う同窓会のために

同窓会で人脈を広げよう

私たちの役割

新会員に期待するもの

加瀬 正裕

22

勝田 啓示

24

村越 友美

25

勝田 啓示

27

活躍する卒業生

サクソフォンとともに —— 人の心が和む音楽を目指して ——

本部からの報告

第129回常任幹事会開催

平成24年度学位記授与式ならびに本学同窓会新会員歓迎式に参列

CUC会計人クラブ 第9回定期総会開催

体育会OB会 第17回定期総会・活動報告

支部からの報告

同期会からの報告

OB会からの報告

現況報告 —— スキー部OB会

卒業祝賀会開催 —— 卓球部OB会

同窓生寄稿

受験生発掘における北海道支部の取り組みについて

クルージングと懇談の集い

同窓生経営の宿紹介『蔵王温泉「故郷」』

金網 栄一

37

松崎 信

36

広報1丁委員会

36

広報1丁委員会

35

飯塚 雅幸

30

中里 稔

49

金子 聡訓

49

伊藤 信彦

51

池田 正司

52

加瀬 正裕

53

随筆

やさしものを楽しむ

社会人基礎力について考えること

田中正敏

54

石井 泰幸

55

CUCの教育

新年度の始まりに際して — 教育改革センター  
 教育の質と『資格試験偏差値』の向上を目指して — 商経学部  
 着眼大局 — 政策情報学部  
 学部1期生の就職率「96・6パーセント」 — サービス創造学部  
 デフレよりも面倒なこと — 会計ファイナンス研究科  
 大学の社会貢献活動の推進 — 地域連携・ネットワークセンター  
 始まっている国際化 — 国際センター  
 経済研究所における活動と今後の計画 — 経済研究所

研究室から

ソーシャルなビジネス経営論の研究

ゼミ紹介

ソーシャルメディアから社会に役立つ情報を

■ ニュース・イベント

原科幸彦政策情報学部教授がアセス分野の中心学会、  
 I A I A の最高賞 Rose-Hulman Award をアジア圏で初の受賞!!  
 本学と千葉県税理士会が包括協定を締結  
 本学と中小企業基盤整備機構関東本部が業務連携協定を締結  
 2013年4月よりキャンパスに学生たちの経営する飲食店を新たに开店!  
 公立学校教員採用試験に続々合格、配属校が決定!!

CUCレポート

■ 地域連携・ネットワークセンターニュース

子どもたちが創る子どもたちの街  
 第3回地域連携フォーラムを開催  
 経営革新を推進する「CUC中小企業マネジメントスクール」  
 千葉商科大学の学生ボランティア

■ 活躍する学生の声

「学生自主防災会」の抱負

チャレンジ応援奨学金制度

保護者便り

大学教育に期待すること  
 入学から1年、母のつぶやき  
 千葉商科大学への期待  
 学生を優良企業に継続的に採用していただくために取り組むこと

退任された教員より

上海立信會計学院のこと

▼第43期同窓会維持会費、華甲会費および入会金納入者一覧 80

▼同窓会支部事務局一覧 86

▼編集後記 88

朝比奈剛	57
鈴木春二	58
宮崎 緑	59
吉田 優治	60
武見 浩充	61
瀧上 信光	62
高橋 百合子	63
上山 俊幸	64
藤江 俊彦	65
橋本 隆子	66
中澤 興起	67
68	68
69	68
70	68
71	71
72	72
73	73
三木 絵里子	73
佐藤 春男	74
笠置 弘文	75
千野 亜津佐	76
栗原 磨奈美	77
川 瀬 功	78
熊岡 洋一	79

# がんばろう 若者よ!

加瀬 正裕

● 千葉商科大学同窓会会長  
(昭43 経済)



学び舎から実社会へと人生のステージを変える卒業生に対して、この春は24年度学位記授与式の後、2つの新しい行事を行いました。まず一つは、学位記授与式に引き続き会場を一にして卒業生の新会員歓迎式の実施です。これは新卒業生の同窓会への歓迎と、大学のご協力で選出された年度幹事10名の皆さんと共に同窓生としての出発点を認識して行こうという意図によるものです。もう一つは、大学との共催による「卒業祝賀会」です。一号館ラウンジで立食にて行い、保護者も参加して温かい気持ちで卒業生を送り出す試みでした。正直、どのくらいの人が集まってくれるか心配でしたが、母校の吹奏楽団とチアダンスチーム、グリッターズの皆さんの献身的な協力により演出に華を添えてくれ大盛況でした。感謝申し上げます。600名以上の皆さんの参加で心配も杞憂に終わり所期の目的が達成できたものと確信しました。こうした中、私共は新卒業生の皆さまにいつまでも母

校としての我が千葉商科大学を心に留めおき、折に触れ母校へ足を運んでいただきたいと願っております。また同窓生として母校に心を寄せていただくとともに、教育活動の充実と発展を念頭にそれらを支え、さらには促すためにも力を貸していただきたいと思っております。

グローバルの仕組みで動く変動の激しい今日の経済社会は、かなりの不安定要因を抱えている状態で、卒業生たる若者にとってこのような環境で社会人としてのスタートには少々厳しいものがあります。しかしながら、このような時代であるからこそ仕事や職場においては心構えをしっかりと認識して、その上で若さに甘えることなく自らを律しきつちりと仕事に臨むことが肝要です。それに、職場のみならず、社会人として臆せず、何事にも我慢の利く人であれと願っております。

「がんばろう 若者よ!」

# 同窓会新会員を迎えて

— 新会員歓迎式および卒業祝賀会を開催 —

## 同窓会新会員歓迎式開催

平成25年3月21日(木)、学部学位記授与式に引き続き、体育館アリーナにて、本学で初となる同窓会新会員歓迎式を執り行いました。歓迎式では、同窓会を代表して加瀬正裕同窓会会長、勝田啓示同窓会支部長会会長から歓迎の挨拶がありました。

また、歓迎式に先立ち、平成24年度卒業生の中から、各学部学科より2名計10名の幹事を選任し、歓迎式当日、壇上から皆さんに紹介しました。歓迎式では幹事を代表して政策情報学部の村越友美さんから決意表明の挨拶がありました。

## 寄り合う同窓会のために

千葉商科大学同窓会会長 ● 加瀬正裕(昭43 経済)

本日の千葉商科大学学位記授与式がこのように盛大に行われまして、真におめでとうございます。こうした中、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。同窓会を代表して心からお祝いの言葉を申し上げます。同窓会です。また、今日の卒業式に至るまでの間、ご家族の皆さまにおかれましては、大変なご苦勞があったかとお察し申し上げます。学生として修学の間を本学で得て、その間に学びの部分やサークル活動を通して、たくさんのことをこの学舎で得たことと思います。親御さんのご負担を考えると、ここにしてようやく我が子の、そしてまた我が家族の学びの節目が得られたことを本当に実感されて



挨拶する加瀬正裕同窓会会長

いることと思います。こうした中、同窓会といたしましては、これから皆さんがそれぞれの道で生活をするにあたり、母校と共に歩む同窓会、そして卒業生であってほしいと願うところであります。

今回の同窓会新会員歓迎式は、大学側の提案で行われた新しい試みです。母校あるのも社会の中で競わなければならぬこの状態において、大学だけの力では十分、

市場での競争に勝てるとは申せません。少子高齢化の中で大学は厳しい競争を強いられる状況にあります。それを支えられるのは私たち同窓会であり、同窓会である私たちが卒業生として支えることによって地域社会にもそれが伝わるわけであり

ます。そうした中、千葉商科大学同窓会は今年、年会費制度を導入してすでに数年経っております。同窓生として同窓会活動を賄うためには自ら支出をして、同窓生としての交流をする中で母校の建学の精神をよく理解し、母校と共に歩む同窓会として発展する。そんなところに私どもは心を寄せているところであります。

本日この後、1号館ラウンジで同窓会と大学の共催による卒業祝賀会を予定しております。その会場において同窓会維持会費、若き皆さんは卒業後、5年間は年会費3千円という負担をしていただくこととなりますが、その受付をさせていただく予定です。会費の負担をするとは大変で、ここでお話することは大変心苦しいところではありますが、これは今後、千葉商科大学と私たちが共に歩むための大きな礎であります。どうか趣旨をご理解いただいて、千葉商科大学同窓生の一員として同窓会維持会費の納入をしていただき、母校と共にこの厳しい時代を勝ち抜いていきたいということで、同窓会を代表して皆さま方にご理解をお願いいたします。

この趣旨をご理解いただく中で、今後、千葉商科大学同窓会が、寄り合える同窓会、そして寄り合う同窓会として、いわば大学に信頼ある同窓会として大学と共に歩

めればこれに勝る喜びはございません。そうした力としての皆さま方の心の一つにさせていただいて、これからの大学をより堅固に、そして未来永劫、力強い大学としてこれからも残っていただけるように、勝ち抜くための力を一つに合わせていただければ有り難いと思います。

言葉整いませんが、同窓会新会員の皆さまを大いに歓迎したいと思えます。本日はご卒業、真におめでとございます。

## 同窓会で人脈を広げよう

千葉商科大学同窓会支部長会長／東京都支部長 ●

勝田 啓示 (昭34 商)

本日は同窓会31支部を代表しまして、皆さまのご卒業のお祝いと同窓会へのお誘いを申し上げます。

皆さまご卒業おめでとございます。この4年間、多くの先生と出会い、そして多くの友達ができたことと思います。お互いに勇気をもらいあったり、相談しあったり、協力しあったりした友達こそが今、皆さんにとって大事な財産です。どうか大事にしてくださいと思います。そして、これから新しい道を歩んでいく中で多く

の出会いがあると  
思えます。その中  
で専門分野での努  
力も必要だと思  
いますが、やはりい  
ろんな方との交流  
を深め、友達や知  
人を多く持ち、人  
脈を広げていただ  
きたいと思えます。  
世間の成功した人  
たちの本を読んだ  
りお話を聞いたり  
しますと、共通し  
て言えることは人脈の多さです。これからの人生の中で  
いかに人脈を活かしていくかが大切ではないかと思つて  
います。

では、人脈をどうやって広げていくか。それには近道  
があります。それが同窓会なんです。同窓会に来ますと、  
千葉商大を卒業したという共通点だけで初対面の人と気  
安く話せます。あるいは、世代を超えて気軽に話をする



同窓会への参加を呼びかける勝田啓示支部長会長

ことができます。一例を挙げますと、今日は同窓会関係の出席者の中に高橋副会長がおられます。高橋さんは今、東京都中央区の区議会議員をされておりまして、東京でオリンピックが開催され、選手村を中央区に作るとした場合、東京の台所である築地卸売市場をどうやって移転しようかと、諸問題に取り組みられています。そういった普段は大変偉い先生なので近寄りがたいのですが、同窓会に来ると「おーい、高橋さん」と気軽に声をかけることができます。これが同窓会の良さなんです。皆さん、是非同窓会に参加していただきたいと思えます。私ももっと早く同窓会に参加していたら、大げさかもしれませんが人生が変わっていたのではないかと思うくらいです。それほど皆さんからいろんな知識や勇気や知恵を頂き、自分自身も人間性に幅が出てきたのではないかと思っています。同窓会って素晴らしいんです。ぜひ皆さんご参加ください。

最後に今はやりのコマースィナル風に、同窓会へのお誘いを皆さんにさせていただいて終わりにしたいと思います。

「同窓会にいつ入るか、今でしょう！」  
全国31支部が皆さんのお越しをお待ちしています。



年度幹事を代表して挨拶する村越友美さん

## 私たちの役割

年度幹事代表・政策情報学部 ● 村越友美

平成24年度同窓会新会員の幹事となりました政策情報学部の村越友美です。幹事を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

加瀬同窓会長、  
勝田支部長会  
長ほか同窓会の皆  
さま、本日は私た  
ち平成24年度卒  
業生を同窓会新  
会員として温かく  
歓迎していただき、  
本当にありがと  
うございます。私  
たちは明日からそ  
れぞれの進路に向  
かって歩き始めま  
すが、全国で活躍



壇上に並んだ平成24年度幹事の面々

しておられる千葉商科大学の先輩方の存在をととても心強く思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。壇上におられます私たちが平成24年度卒業生の幹事として、同期の皆さまと同窓会、さらには母校千葉商科大学を繋ぐ役割を果たしていきたいと思えます。

卒業生の皆さま、私たちはこれから未知の世界に一步踏む出すこととなりますが、母校で学んだことを礎として、同窓会の先輩方のような社会に貢献できる人間を目指して歩んでいきましょう。そして、時には母校に戻り、先生方や先輩・後輩の方々と交流し、ともに千葉商科大学を支える力になりましょう。加瀬会長はじめ同窓会の皆さま、また、島田学長はじめご臨席いただきました先生方、ご来賓の皆さま、本日は本当にありがとうございました。今後とも、私たち新会員をご指導くださいますよう、宜しくお願いいたします。

### 平成24年度幹事

#### 商経学部

商学科…朝倉翼さん、村上仁美さん

経済学科…大場司さん、小林明日香さん

経営学科…柏瀬竜也さん、渡部暁人さん

政策情報学部 政策情報学科…三浦幸也さん、村越友美さん

サービス創造学部 サービス創造学科…森早樺さん、和田隆太郎さん



## 新会員に期待するもの

千葉商科大学同窓会支部長会長／東京都支部長 ●

勝田 啓示(昭34 商)

東京都支部では毎月「月例会」を実施している。ある月に平成卒の若い会員が出席してくれた。彼の自己紹介の中で「皆さまは昭和とか平成の元号で言われますが、私は西暦でないとピンとこないのです。」というくだりがあった。言われてみれば、最近ではTV・新聞等でも西暦と併記している。我々は古いのかと思わせられた。

元来、同窓会というものは、この時だけは世代や身分を超え、著名な方々とも気軽に話ができる。そして人脈を広げることができ、これが仕事にも、生き方にもヒントになり、勇気や元気をもらえる場であり、これが同窓会の良さである。本誌「活躍する卒業生」にも紹介された箱根富士屋ホテル社長、東京都中央区区議会議員、派遣会社社長、日本税理士会連合会副会長、総務省部長、サキソフォン奏者など著名な諸先輩が多いことは誇りである。と新会員には都度伝えてきた。

3月21日、学位記授与式、新会員歓迎式に引き続き行われた卒業祝賀会で二、三の卒業生に聞いてみた。同窓

会の良さは十分承知しているが同窓会(本校・支部各定期総会)に参加しても先輩達に圧倒され自分達の居場所がないのでは? という不安をもっているように思えた。

我々の時代とは違い、教育方法も大幅に変わっている。サービス創造学部は、「学問から、企業から、活動から学ぶ」をテーマに学生生活の中で広い創造力を養い、政策情報学部はどのコースにも問題解決の基本理念であるPlan-Do-Check-Actのマネジメントサイクルが貫かれており、未来を具体的な姿として実現しようとするものであり、商経学部は新しい時代を担い切り拓く人材を育成するといふものでそれぞれ積極性を重んじているので、旧態然の多い同窓会では自己実現の場がないのかも知れない。

平成も25年経つが同窓会に参加する会員は昭和卒が大半である。新会員歓迎式で年度幹事10名が紹介された。彼等が何を望んでいるか、どういう同窓会にしたいのか、直近3年くらいの年度幹事を囲んで現同窓会役員は会合の場を設ける必要があるだろう。それぞれの学部で学んだ教育を採り入れたすばらしいアイデアが出てくるに違いない。大いに期待するものである。



島田学長より式辞



式典会場の光景



表彰された学生たち

# 学位記授与式



学生時代最後の校歌斉唱



希望に満ちた笑顔



島田学長を囲んで



卒業おめでとう!



クラブの後輩たちと



グリッターズも祝福



挨拶する原田嘉中理事長



島田学長の音頭で乾杯

卒業  
祝賀会



激励のメッセージ



島田学長らとともに



歓談のひととき



卒業した仲間とともに



溢れる笑顔